

令和5年度 南大沢スマートシティ協議会（第3回）

議事要旨

- 日時：令和5年12月15日（金）10時30分～12時00分
- 開催場所：南大沢市民センター / オンライン会議（Zoom）
- 出席者：委員11名、事務局

□主な議事（●説明、○説明に対する意見・回答）

<前回までの振り返り>

- 事務局より、サービス群についてはリビングラボやアンケート、協議会関係者の意見等を踏まえて精査するとともに、サービス主体については協議会関係者と相談しながら検討するとの説明があった。また、協議会関係者からのサービスの提案も歓迎するとの説明があった。

<認知度アンケート調査の報告>

- 事務局より、スマートシティに関する認知度を把握するためのWEBアンケート調査、および11月のイベントで来場者の方々に対して実施したインタビュー調査についての結果報告があった。
- 委員より、街での過ごし方については、朝・昼・夜などで時間帯を分けて調査すると、より詳細な分析ができるのではないかとの意見があった。
- 座長より、住民の方々の街に対する印象や意見などをヒントに、どのようなスマートシティの取り組みができるか考えることが重要との意見があった。
- 委員より、買い物に行くときの交通プロセスに関するニーズなど、具体的な意見を踏まえてサービスの議論に繋げていくべきとの意見があった。

<イベント開催の報告>

- 事務局より、11月19日（日）に開催された「南大沢スマートシティ FES.2023」について報告があった。
- 座長より、本イベントや今後予定されているリビングラボなどを通じて、住民の目に触れる機会を増やすことで、南大沢スマートシティの認知度が上がることを期待すると意見があった。

<リビングラボについて>

- 事務局より、今後開催を予定しているリビングラボについて説明があった。
- 委員より、リビングラボ開催に当り、新しく組織や場所を設けるのかとの質問があった。

- 事務局より、組織や決まった場所を設けず、自由度の高いプラットフォームを目指すとの回答があった。
- 委員より、リビングラボについては、地元企業が持つ技術シーズを起点としたテーマも検討してはどうかとの意見があった。
- 座長より、開催場所によって関心層および想定されるペルソナやニーズが異なってくるため、将来的には様々な場所で開催することも検討してはどうかとの意見があった。

<実証プロジェクト実施要綱（案）について>

- 東京都都市整備局より、実証プロジェクトの実施要綱（案）について、事前の照会に対する委員からの質問・意見について説明があった。
- 協議会として、実証プロジェクトの実施要綱について、案のとおり決定した。

<新たな実証プロジェクトについて>

- 事務局より、新たな実証プロジェクトについて提案があった。
- 東京都都市整備局より、今回事務局から提案のあった新たな実証プロジェクトについては、実施要綱に基づき都の予算を活用したいとの説明があった。
- 座長より、協議会委員・関係者に対して、費用負担以外の協力についても検討願いたいとの意見があった。
- 委員より、検証内容について精査すべきとの意見があった。
- 協議会として、事務局より提案のあった新たな実証プロジェクトについて実施することを決定した。

以 上